

山 行 報 告 書

山行報告者：佐藤ゆ

山 域・山 名：雌 阿 寒 岳 (1,499m)		(北海道足寄郡足寄町)	
入山日又は期間：平成30年7月27日(金)		・日帰り	
プラン担当者 正：佐藤ゆ 副：			
参 加 者	L・記・報：佐藤ゆ		
	他1名 男1名、女1名、計2名		
天候 晴れ			
月 日()	集合時間・集合場所：なし		
7月26日 (木)	空路 17:05 成田発 18:55 新千歳着 レンタカーにて帯広まで移動、宿泊		
7月27日 (金)	8:00 出発、レンタカーにて雌阿寒岳温泉登山口へ、10:40 山行開始～雌阿寒温泉コース～13:07 雌阿寒岳山頂 13:12-13:46 阿寒富士分岐 14:05-14:39 阿寒富士 14:40-14:56 阿寒富士分岐 15:03～オンネトーコース～16:40 オンネトー登山口-17:35 雌阿寒岳温泉登山口へ下山 着後、小清水町の宿へ移動し、宿泊。		
装 備 と 食 糧	共同装備：ツエルト（佐藤ゆ）、 共同食：なし 車提供者：なし		
	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、非常食、ストック、グローブ、飲料水、帽子、サングラス、日焼け止め、熊鈴 個人食：昼食		
感 想 & 要 注 意 事 項	<p>まず移動しなければいけなかったため、スタート時間が遅く、なんとなく気持ちの焦りや、気温も高く、しんどかった。雌阿寒岳温泉からスタート。しばらくは気持ちの良い明るめの樹林帯。上部に行くと展望が開けてザレ場、9合目からは火口が見えて煙もところどころ出ている、迫力ある雰囲気。雌阿寒岳頂上は身体にしつこくくっついてくる虫がたくさんで留まらず、急いで写真を撮ったらすぐ退散。足場がザレている、下りはとても滑りやすく危険。ザレ場の下りで相方が思い切り転んで、手のひらを負傷してしまった。こういう場所は手袋をしたほうが良いと思い知らされた。</p> <p>戦意喪失した相方には阿寒富士は登らずケルンの分岐のところまで待ってもらい、1人阿寒富士ピークハント。ここもザレザレで歩きづらかった。</p> <p>登りは雪山のようにキックステップで歩くと若干すり落ちるのを防げることに気づく。阿寒富士からの下りは、超大量の砂利が靴に入った。スパッツを持っていたのに、待機場所にデポしてきてしまい、失敗。。そのままオンネトーコースを下って下山。</p> <p>かなり猛暑でザレ場なので砂漠のようだった。</p> <p>少し久しぶりの山歩きだったのと、猛暑で、最後のオンネトー湖に降りてから雌阿寒岳温泉へ戻る道のり1時間も長くしんどく感じた。</p>		